

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-640	22-079	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
A systematic review and meta-analysis on alcohol consumption and risk of endometriosis: an update from 2012 アルコール摂取と子宮内膜症リスクに関するシステマティックレビューとメタアナリシス：2012年からのアップデート		
執筆者		
Li Piani L, Chiaffarino F, Cipriani S, Viganò P, Somigliana E, Parazzini F.		
掲載誌		
Sci Rep. 2022 Nov 9;12(1):19122. doi: 10.1038/s41598-022-21173-9.		
キーワード		PMID
アルコール、子宮内膜症、システマティックレビュー、メタアナリシス		36352037
要旨		
目的： アルコール摂取と子宮内膜症リスクとの関連を最新の文献を用いたシステマティックレビューで明らかにする。		
方法： PubMed および EMBASE (2012年5月～10月) で包括的な文献検索を行い、23件の候補論文を選出した。検索キーワードは子宮内膜症、食事、栄養、アルコール、ビタミン、脂質、野菜とし、症例対照研究、コホート研究、横断研究を選出した。逆分散を加味したランダム効果モデルにより統合オッズ比 (OR) を算出した。		
結果： アルコール摂取による子宮内膜症リスクは非摂取と比較すると 1.14 倍で、過去のメタ解析では統計的に有意な結果であったが、本研究ではアルコール摂取による子宮内膜症リスクは統計的に有意な関連を認めなかった (OR 1.14 ; 95%CI : 0.99-1.31)。しかし、中等度のアルコール摂取による子宮内膜症リスクは非摂取と比較すると 1.22 倍で、統計的に有意な関連を認めた (OR 1.22、95%CI : 1.03-1.45)。		
結論： 中等度のアルコール摂取は子宮内膜症と統計的に有意な関連を認めた		